

第5学年 道徳科(人権)学習指導案

1 主題 心と体を守るために

2 主題設定の理由(省略)

3 ねらい

- 自分と相手の心と体を大切にすることが互いの人権を尊重することでもあることを理解させる。
- 互いの気持ちを尊重し、よりよい人間関係を構築しようとする態度を養う。
- 心と体の距離が守られていないときなどに適切に対応する力を身に付けさせる。

4 指導計画

(1)これまでの学習

理科「生命のつながり」……………7時間

道徳科「助産師さんのお話」……………1時間

学級活動「宿泊活動前の保健指導」……………1時間

(2)現在の学習

道徳科「心と体を守るために」……………3時間(本時2/3)

(3)これからの学習

道徳科「ナイスリターン」……………1時間

学級活動「お楽しみ会」……………1時間

5 本時の学習

(1)目標

心と体には適切な距離感があることやそれを守るための対処法を理解し、自分と同じようにほかの人を尊重する意思決定や行動選択をしようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	D-(19) 生命の尊さ
-------------	--------------

(2)普遍的な学習のテーマ 生命の大切さ、個人の尊重

個別人権課題 子ども

(3)展開

学習活動	指導上の留意点
1 これまでの学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。	○ 前時までの児童の感想から、本時の学習の方向付けをする。
「ちょうどいい距離感」ってなんだろう	
2 ふれあいゲームを行い、感想を伝え合う。	○ 人によって感じ方が違うことに気付かせる。
3 心と体の距離感について話し合う。	○ 「ちょうどいい距離感」を守ること、自分と相手の人権を守ることにつながることを理解させる。①
4 これからの生活について考える。	○ 断ることの大切さや断られても相手の気持ちを尊重することの大切さに気付かせる。②

(4)評価

・心と体には適切な距離感があることやそれを守るための対処法を理解することができたか。

(知識的側面)①

・自分と同じようにほかの人の心と体の距離感を尊重し意思決定や行動選択をしようとする意欲を高めることができたか。

(価値的・態度的側面)②